

田中法相 辞任



発行所
山形新聞社
山形市旅籠町2-5-12
電話 代表023(622)5271
Copyright (c) 2012
Yamagata Shimbun

2012年
10月23日
〈火曜日〉

電子
速報版

購読申し込み
(9-17時)

0120-81-8040

やまがた
ニュースオンライン
yamagata-np.jp

携帯・スマホ
yamagata-np.jp
/mobile/



詳しくは山形新聞を
ご覧ください。

就任3週間、野田政権に打撃

献金、暴力団問題で引責

田中慶秋法相兼拉致問題担当相(74)は23日午前、外国人が経営する会社からの献金や暴力団関係者との交遊問題の責任を取り、閣僚の辞表を野田佳彦首相宛てに提出した。事実上の更迭となる。10月1日に発足した野田第3次改造内閣は約3週間で閣僚辞任に追い込まれた。野党は首相の任命責任を厳しく追及する方針。首相は後任の人選を急ぎ、早期立て直しを図るが、政権運営に大きな打撃だ。



田中氏は23日朝、周辺に「辞めることは病院に入院していたときから考えていた。22日夜、同僚議員と相談し最終的に決断した」と述べた。

田中氏が代表の政治団体は2006〜09年、外国籍の男性が経

法相兼拉致問題担当相に決まり、記者会見する田中慶秋氏

11日、首相官邸

営する会社から計42万円の献金を受け、田中氏は政治資金規正法に抵触するとして全額返金。12日の記者会見では、暴力団関係者の仲人を約30年前に務めたことを認めていた。

自民党などは野党が多数を占める参院で法相問責決議案提出の構えを見せ、田中氏は参院決算委員会や閣議を欠席。19日から22日まで体調不良を訴え都内の病院に入院し、職務続行が困難になっていた。民主党内では田中法相が続投したままでは、29日召集の臨時国会を乗り切れないとの声が強まっていた。野田内閣での閣僚辞任は、原発事故視察をめぐり不適切な発言があった11年9月の鉢呂吉雄経済産業相に続き2例目。